



2024年10月10日

各位

会社名 株式会社 チョダ
代表者名 代表取締役社長 町野 雅俊
(コード番号 8185 東証プライム市場)
問合せ先 取締役管理本部長 井上 裕一郎
(TEL. 03-5335-4134)

2025年2月期第2四半期(中間期)連結・個別業績予想の修正
及び棚卸資産評価損の計上に関するお知らせ

2024年4月12日に公表しました2025年2月期第2四半期(中間期)連結・個別業績予想の修正及び棚卸資産評価損の計上をいたしましたのでお知らせします。

1、2025年2月期第2四半期(中間期)連結業績予想の修正(2024年3月1日~2024年8月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する中間純利益 (百万円)	1株当たり 中間純利益 (円)
前回発表予想(A)	48,300	1,000	1,150	1,100	31.30
今回修正予想(B)	48,854	1,614	1,829	1,588	45.16
増減額(B-A)	554	614	679	488	—
増減率(%)	1.1	61.5	59.0	44.4	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2024年2月期第2四半期)	48,089	927	1,070	830	23.65

2025年2月期第2四半期(中間期)個別業績予想の修正(2024年3月1日~2024年8月31日)

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	中間純利益 (百万円)	1株当たり 中間純利益(円)
前回発表予想(A)	40,800	1,710	1,540	43.82
今回修正予想(B)	41,373	2,358	2,053	58.39
増減額(B-A)	573	648	513	—
増減率(%)	1.4	37.9	33.4	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2024年2月期第2四半期)	39,945	1,305	1,052	29.97

2、修正の理由

(第2四半期(中間期)連結業績予想)

靴事業では、在庫処分の促進等により売上総利益率は計画を下回る見通しですが、プライベートブランド商品を中心とした販促活動の強化等により、売上高は計画を上回る見通しとなりました。また、不採算店舗の閉鎖、人事効率の改善等に取り組み管理費を削減したことで、営業利益は計画を上回る見通しとなりました。

衣料品事業では、不採算店舗の閉鎖、及びそれに伴う在庫処分を進めたことにより売上総利益率は計画を若干下回る見通しですが、徹底した仕入コントロールによる在庫の抑制、及び賃借料、人件費等の抑制により、営業損失は計画よりも改善できる見通しとなりました。

以上の結果、第2四半期(中間期)連結業績予想を上回る見通しとなりました。

(通期連結業績予想)

通期連結業績については、不確実な諸条件について現在精査中であり、今後業績の見通しに修正が生じた場合には、速やかに開示いたします。

(個別業績予想)

個別の通期業績予想につきましても、不確実な諸条件について現在精査中であり、今後業績の見通しに修正が生じた場合には、速やかに開示いたします。

3、棚卸資産評価損の計上

店舗の商品鮮度向上を目的として、仕入から一定の期間を超える商品を滞留在庫とし、直近の販売実績に照らした販売可能性及び滞留在庫の判定を行った結果、棚卸資産評価損として 2025 年 2 月期第 2 四半期（中間期）において、連結 455 百万円、個別 400 百万円を売上原価に計上いたしました。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表時点において収集可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上